

秋田市の先人たち

昭和を代表する社会派作家

石川達三

明治三十八（一九〇五）年生

昭和六十（一九八五）年没

横手市幸町生まれ（幼少期檜山住）



主な事蹟

昭和十年、ブラジル移民集
団の姿を描いた『蒼氓』で第
一回芥川賞を受賞して作家生
活に入った。『生きてゐる兵
隊』で新聞紙法違反に問われ
たこともあったが、戦後は、
『人間の壁』『金環食』等多
くの社会派作品を著し、同四
十四年、菊池寛賞も受賞した。
また、日本ペンクラブ会長
や日本文芸家協会理事長など
を歴任した。